

## 台東区都市計画マスタープラン（事務局案）の概要

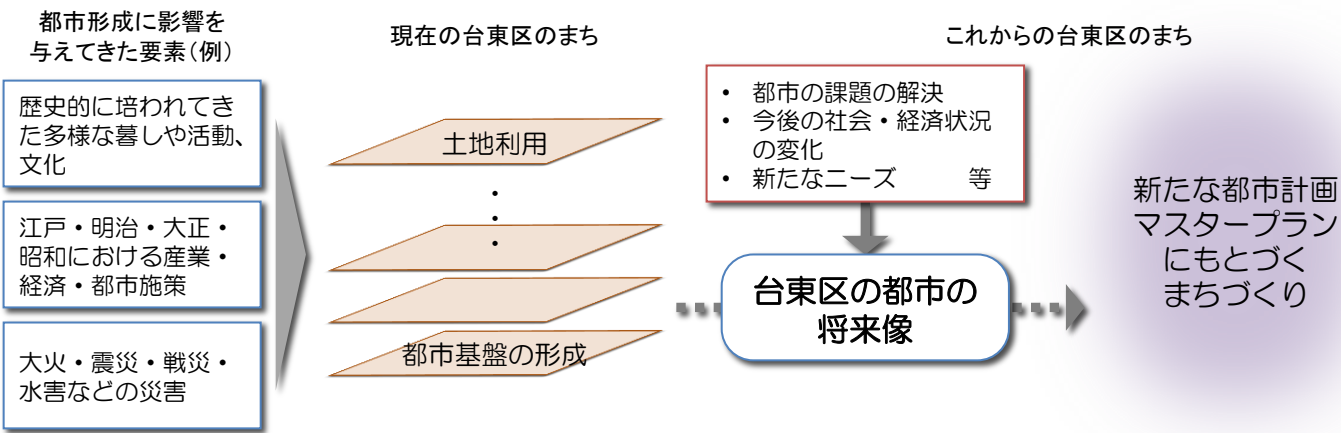
---

- 第1章：都市計画マスタープランとは. . . . P 1
- 第2章：台東区の現状. . . . . P 1
- 第3章：都市計画マスタープランの方向性. . P 2
- 第4章：分野別まちづくり方針. . . . . P 4
- 第5章：地域別まちづくり方針. . . . . P 6
- 第6章：まちづくりの実現に向けて. . . . . P 8

# 第1章 都市計画マスタープランとは

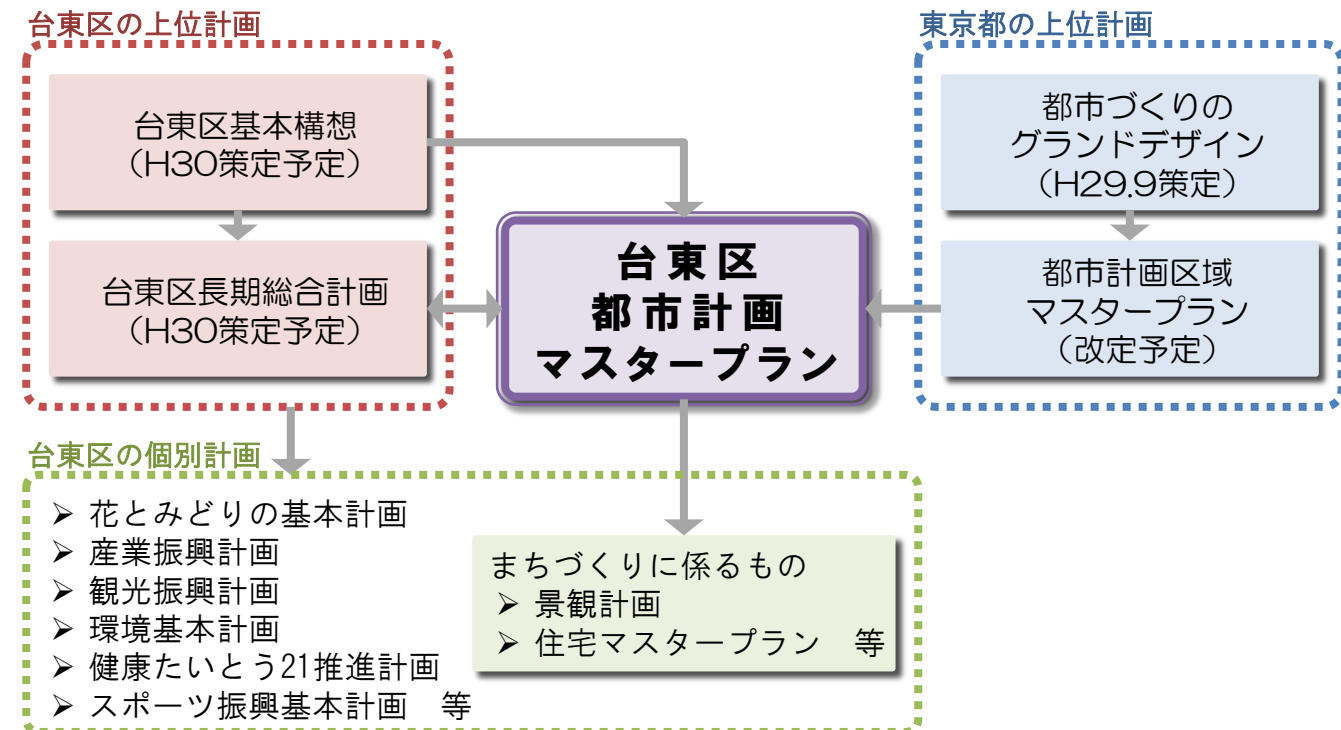
## ① 背景・役割

- 都市計画マスタープラン策定から10年以上が経過し、上位・関連計画の改定、土地利用状況の変化、国際化の進展など台東区を取り巻く社会状況も変わりつつある。
- また少子・高齢化や人口減少への対応、環境・エネルギー問題への取組み、暮らしの安全・安心の充実、多様な価値観・生活様式への対応も求められている。
- そこで様々な都市課題や社会・経済状況の変化に対応し、20年後の台東区のみちの将来像を示すため、新たな都市計画マスタープランを策定する。



## ② 位置付け

- 都市計画マスタープランは、区の基本構想及び東京都の都市計画区域マスタープランに即して定められる。(都市計画法第18条の2)



# 第2章 台東区の現状

## ① 都市としての魅力

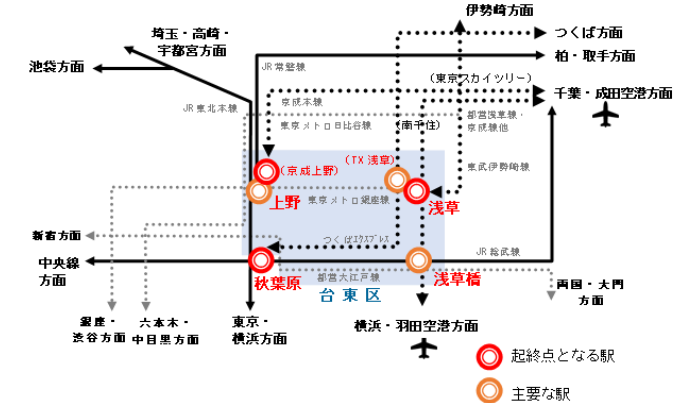
- 道路・鉄道等の都市基盤が高い整備水準にある
- 世界に誇る文化・芸術や産業、観光等の多くの資源を有する
- 都心に隣接し、公共交通網によるアクセス性が高い

都市計画道路の整備率

進捗状況	延長	割合
事業完了	33,239m	80.6%
事業中	1,170m※	2.8%
未着手(現道あり)	6,321m	15%
未着手(現道なし)	504m	1%
合計	41,234m※	100%

※ 約6,300㎡(放射28号線交通広場)を含まない

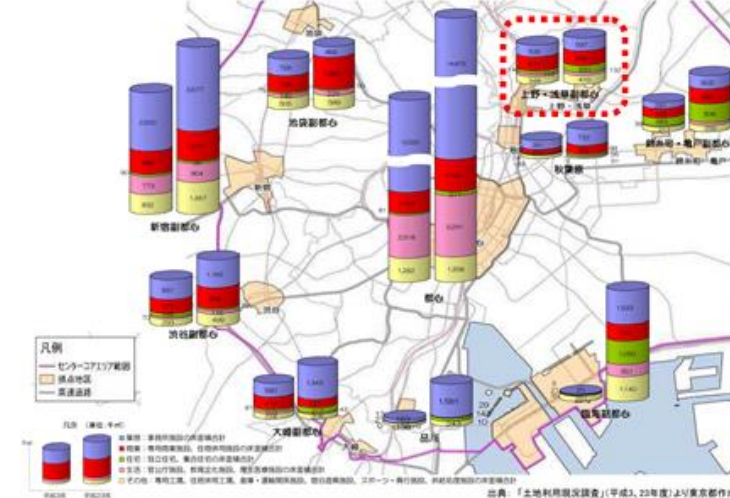
台東区の広域ネットワーク図



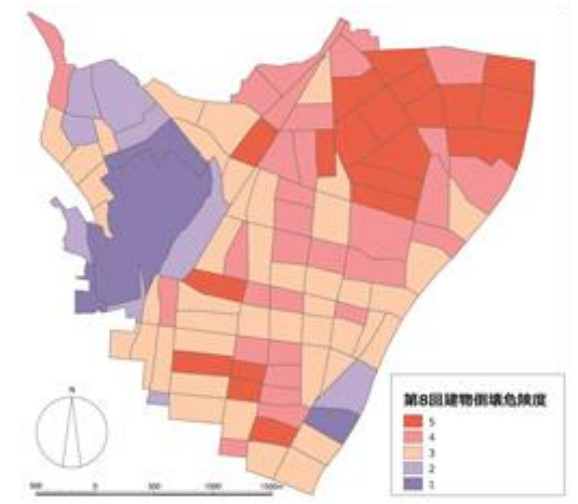
## ② まちづくりの課題

- 機能集積が見られず、拠点性の低下が懸念される
- より一層の防災性の向上の必要性がある
- 地区まちづくりの動きとの整合の必要性がある
- 土地の利用形態が変化・複雑化している(商業地への住宅建設の増加等)

都内の拠点ごとの機能集積の変化



建物倒壊危険度(第8回)



## ③ 社会情勢・要請

- 首都直下地震への備え
- 少子高齢化への対応
- 都市の低炭素化への対応
- 民を活かした、柔軟性・スピード感のあるまちづくり、経済性・生活の質の向上に資するまちづくりを推進
- 健康まちづくりの推進

## ① 将来像・基本目標・将来イメージ

- 基本構想に掲げる将来像・基本目標を、都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定
- 基本目標からキーワードを抽出し、ひとの活動を意識したまちづくりの将来イメージを設定

### 台東区基本構想の将来像・基本目標を 都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定

#### 【まちづくりのキーワード(案)】

ひとまちの  
魅力

ひとまちの  
活力

ひとまちの  
多様性

ひとまちの  
安全性

ひとまちの  
快適性

ひとまちの  
利便性

#### 【まちづくりの将来イメージ(案)】

**ひとまちの魅力**

- ▶ 長い歴史に裏打ちされたまちの個性が活かされ、他の都市とは異なる唯一無二の魅力が、居住者、通勤・通学者、来街者、観光客などを惹きつけている。
- ▶ こころの豊かさへの志向に対応し、生涯学習、スポーツなど台東区の資源を活用した様々な活動の場や舞台が用意されて、誰もがいつまでも成長できるまちが形成されている。
- ▶ コンパクトな都市構造と充実した交通網を強みに、複合的な土地利用を活かした歩いて暮らせるまちが形成されている。

**ひとまちの活力**

- ▶ 上野、浅草をはじめとする区内の拠点において、特徴のある諸機能の集積により、居住者、通勤・通学者、来街者の増加と交流が活発化し、賑わいが絶えないまちとなっている。
- ▶ 若い人や起業家の新たな試みにチャレンジできる環境が既存の産業資源や人材を活かしたまちづくりによって実現され、都市の活力が維持、創出されている。
- ▶ 多様な人々が交流するコミュニティが形成され、人々の生活がいきいきと輝くまちとなっている。

**ひとまちの多様性**

- ▶ 地域の個性と融合した多様な住まいが誘導され、職住近接など様々な生活様式やワークスタイル、価値観が展開されている。
- ▶ 文化の良さを活かしつつ、時代に対応した新たなコミュニティも生まれ、子供、若者から高齢者まで多様な世代が交流し生活している。
- ▶ 国際観光都市として外国人にもやさしいまちづくりが進められるとともに、居住環境と観光の共存が図られている。

**ひとまちの安全性**

- ▶ 大地震や集中豪雨等の様々な自然災害に強い都市整備やまちづくりと一体的な対策が進み、ハード、ソフト共にまちの安全性が高まっている。
- ▶ 強固なコミュニティを強みに、「自助」「共助」「公助」が一体となった防災まちづくりが進み、だれもが安全に暮らし、滞在できるまちが形成されている。
- ▶ 地域特性に合致したまちづくりニーズを踏まえた歩行者空間が整備・確保され、歩行者にとって安全でバリアフリーのまちが形成されている。

**ひとまちの快適性**

- ▶ 上野公園や不忍池、隅田川などの自然と、身近な水・みどりが都市活動と融合した、うるおいのあるまちづくりが進んでいる。
- ▶ 台東区ならではのまちの成り立ちを継承し、歴史・文化資源や祭りなどの賑わい、地形、水・みどりがまちづくりに取り込まれた景観が形成されている。
- ▶ 地球環境、資源循環に配慮し、まちづくりにおいても低炭素化、ヒートアイランド現象の抑制、環境との共生が進められている。

**ひとまちの利便性**

- ▶ 都心に隣接し、鉄道や空港アクセスなど広域交通の利便性に優れ、道路や公共交通網を活かし、諸機能の集積と相まって活力と魅力に富んだ利便性の高いまちとなっている。
- ▶ 上野、浅草など拠点的な交通ターミナルでは、乗換利便性向上や周辺のまちとのつながり強化などにより、まちの利便性がさらに高まっている。
- ▶ 地域のニーズに応じた機能が適切に配置されるとともに、誰もが利用可能な移動経路が確保され、行きたい場所があるまち、行きたい場所に行けるまちが形成されている。

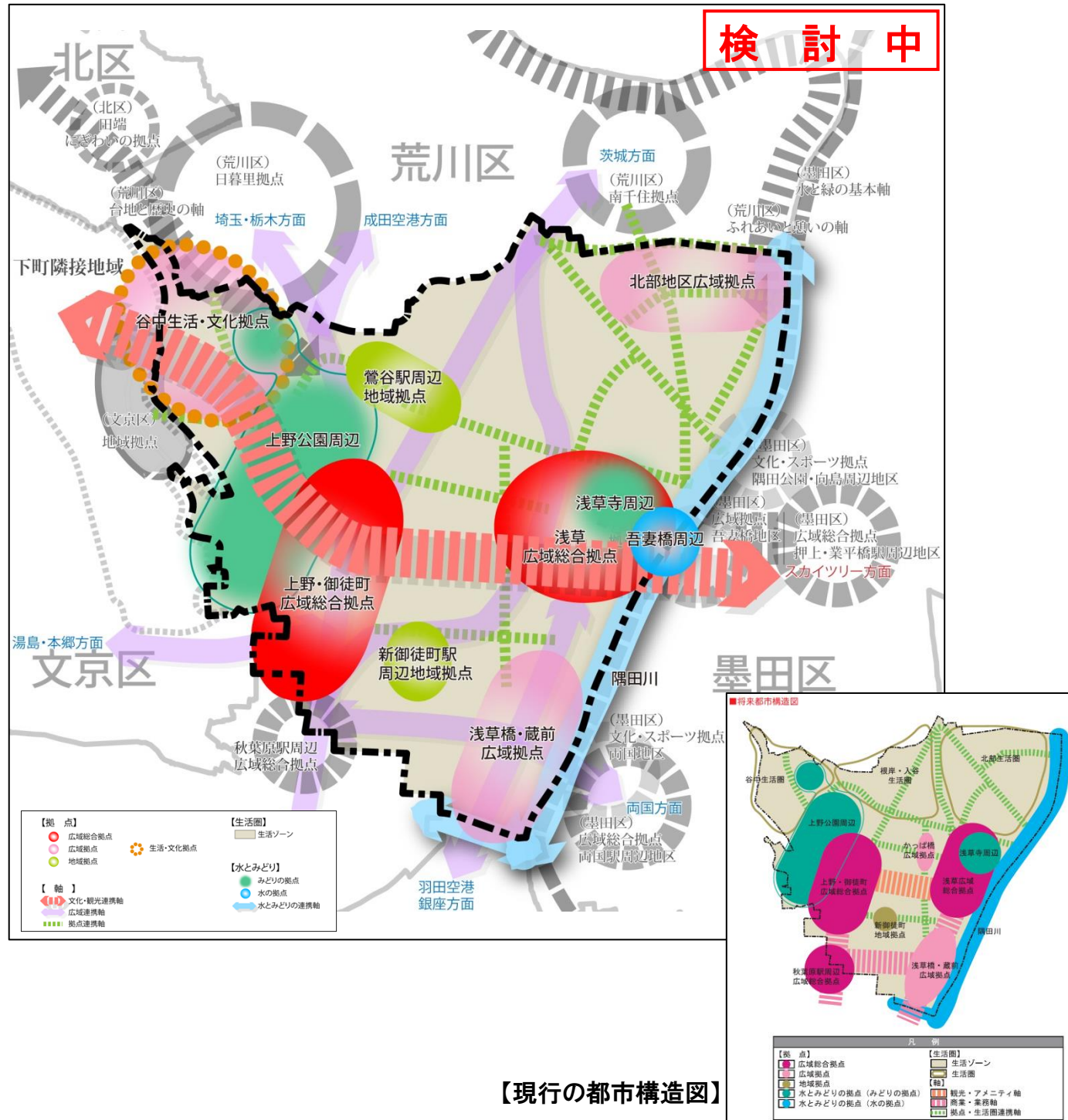


## ② 将来都市構造・土地利用の方針

### ②-1 将来都市構造

- 周辺区との連携を踏まえた拠点・軸を検討
- まちづくりの動向や課題を踏まえ、谷中地域、鶯谷駅周辺、北部地域への追加を検討
- 吾妻橋周辺に舟運や親水性を活かした水の拠点の位置付けを検討

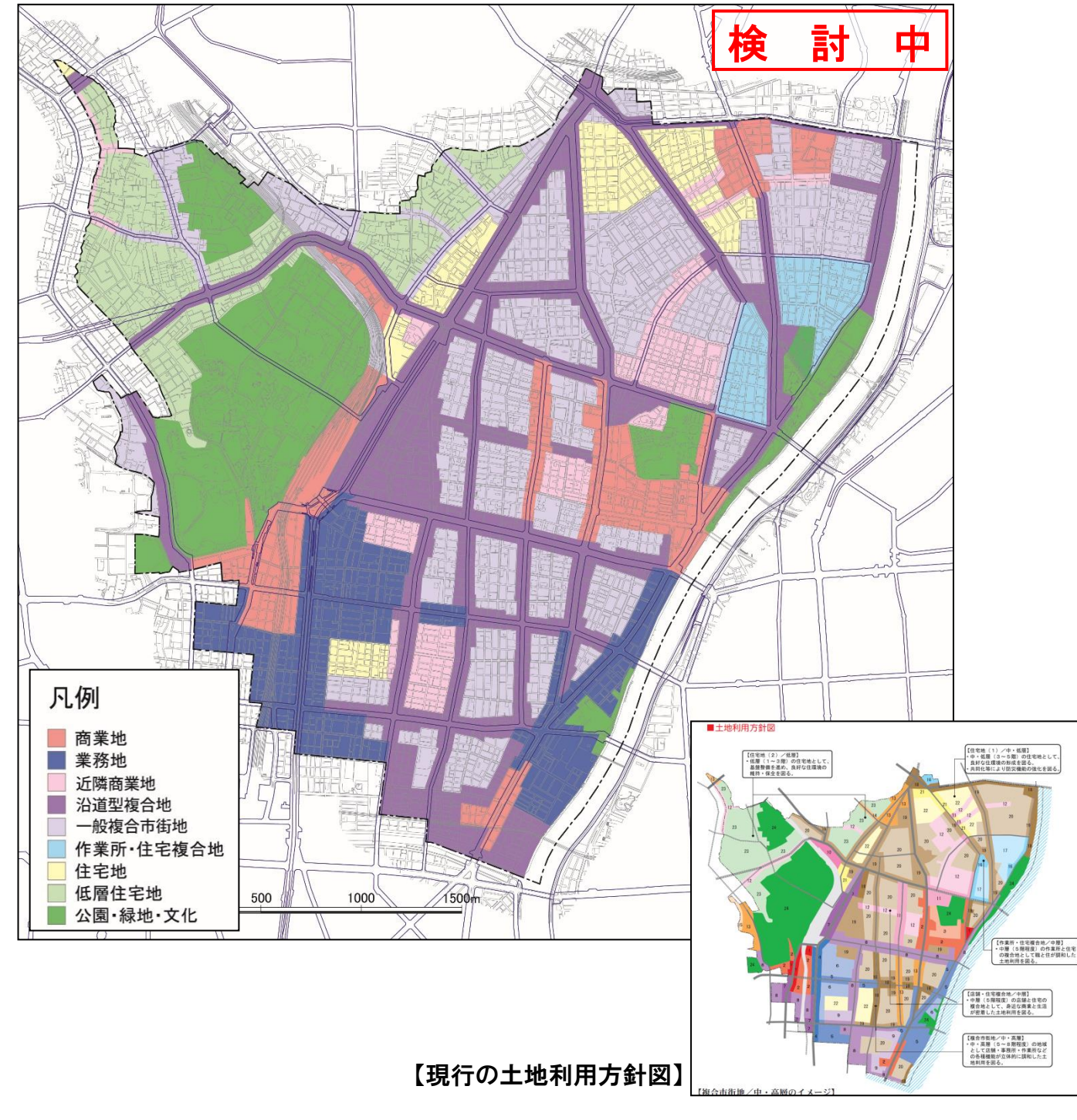
【将来都市構造図(案)】



### ②-2 土地利用の方針

- 土地利用の方針については、将来都市像の根幹をなすものであることから、「第4章：分野別まちづくり方針」から「第3章：将来イメージ」へ記載場所を変更
- 土地利用に特化した方針図に変更

【土地利用方針図(案)】









## 花とみどり・環境まちづくり方針

花とみどり・水に  
囲まれた潤いを感じる  
まちづくり

### 検討のポイント

- 地域の価値を高めるみどり・公園の創出
- 水辺の活用・まちと水辺のつながりの強化
- 都市の低炭素化への対応

等

⇒ 参考資料2参照



検討中

## 防災まちづくり方針

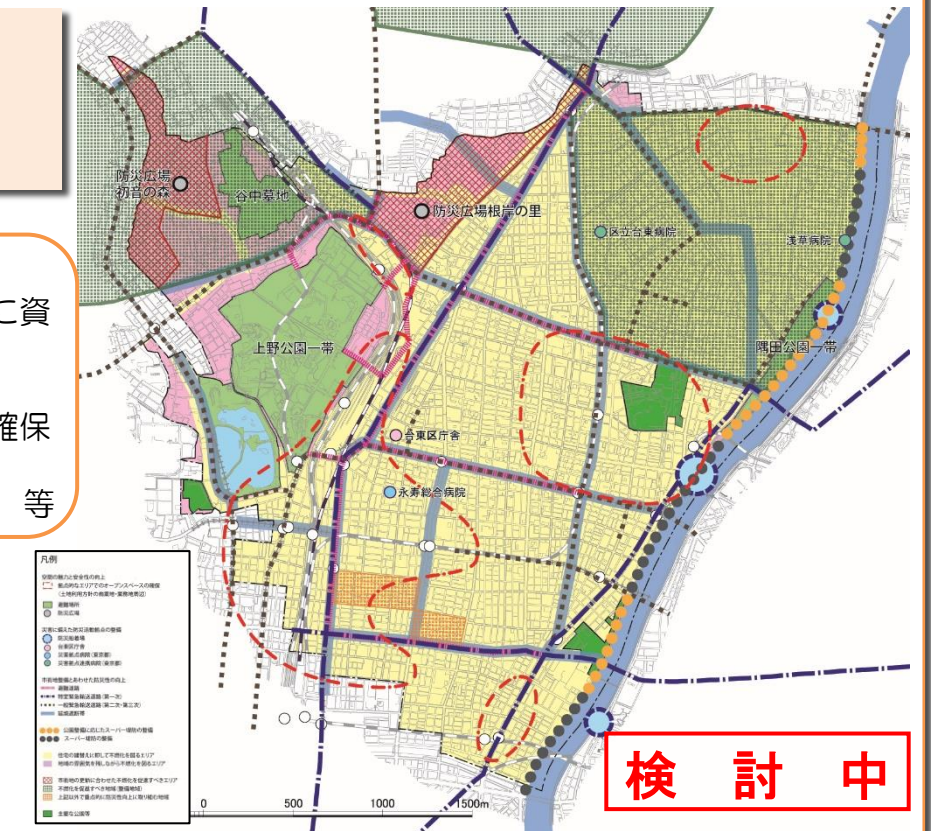
様々な災害から  
生活・文化を守る  
まちづくり

### 検討のポイント

- まちのブランド力向上に資する災害対策
- 総合的な防災力の強化
- 災害時のまちの継続性確保
- 復興まちづくりの検討

等

⇒ 参考資料2参照



検討中

## 景観まちづくり方針

個性豊かな街並みが  
人々を惹きつける  
まちづくり

### 検討のポイント

- 文化資源や自然要素を活かした景観形成
- 拠点における風格ある景観形成
- 愛着・誇りを持てる景観形成

等

⇒ 参考資料2参照



検討中

## 道路・交通まちづくり方針

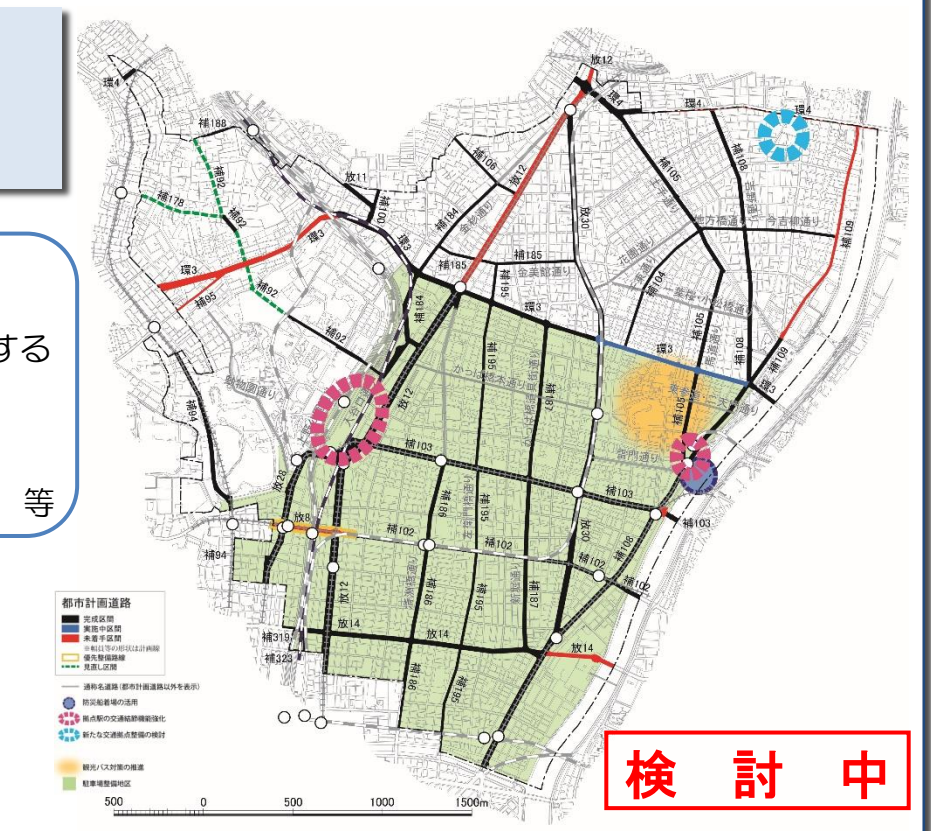
多様な人々の  
活動を支える  
まちづくり

### 検討のポイント

- ひと中心の道づくり
- 生活利便性の向上に資する交通の充実
- 新たな交通拠点の検討

等

⇒ 参考資料2参照



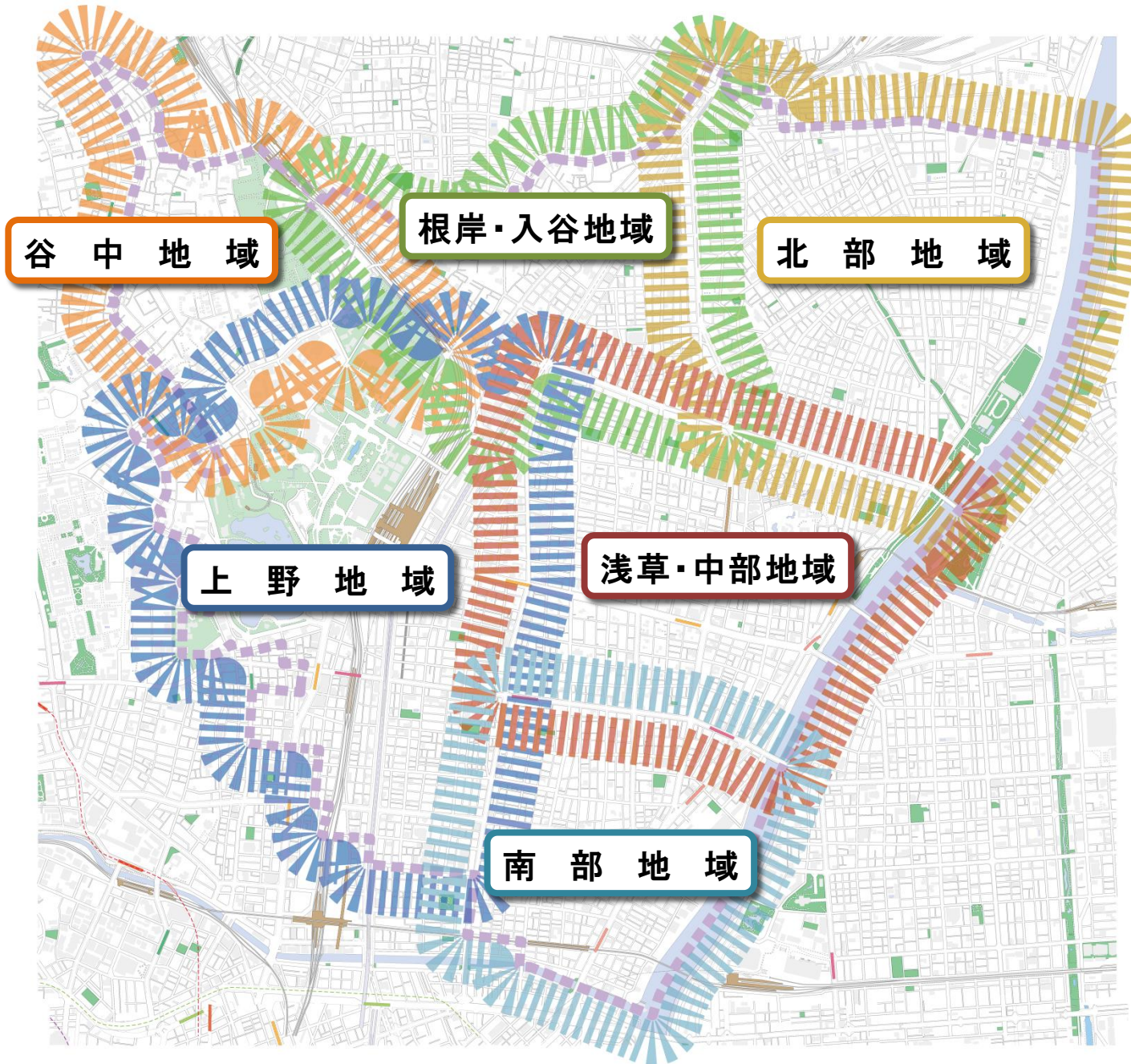
検討中



# 第5章 地域別まちづくり方針

## 基本的な考え方

- 基本的にはこれまでの地域区分を踏襲し、地域ごとのまちづくりの方針を検討
- 地域特性に応じた水辺のあり方や市街地との一体性を示すため、現行のマスタープランに位置付けられている「水の拠点」は削除の上、「浅草・中部地域」、「北部地域」、「南部地域」において記載



## 上野地域

- ・上野公園と浅草、秋葉原、谷中地域、根岸・入谷地域との回遊性向上
- ・広域避難場所への分かりやすい避難動線の整備
- ・上野公園との連続性、景観の統一性に配慮した歩行者ネットワークの整備
- ・歴史や自然、芸術・文化を感じながら、観光や買物ができる空間形成
- ・都心居住の促進
- ・国際的な文化交流発信拠点の形成
- ・水とみどりと芸術・文化が調和したオープンスペース機能強化
- ・国立西洋美術館周辺の環境保存及び景観形成
- ・地下通路・地下駐車場等のネットワークの有効活用
- ・商店街の活性化による多様な商業と産業の複合ゾーン形成（アメ横、ジュエリー街など）
- ・歩行者空間の確保及びジュエリー街としての魅力の向上や買物に訪れやすい都市空間の形成
- ・幹線道路（昭和通り）により分断されたまちの連続性確保
- ・歴史と未来指向のIT産業が調和した地域づくりの推進
- ・上野らしい商業・業務空間の整備による日本の国際競争力強化に資する拠点形成及び高度利用の推進
- ・公共公益機能の再整備、老朽化した建築物の更新
- ・シンボルロードにおけるまちのうおいと賑わいを感じながら歩ける空間整備
- ・シンボルロードの良好な景観形成
- ・駅前広場の整備、交通機能の集約などによる交通結節機能の強化、既存駅舎、鉄道高架下などの有効活用
- ・わかりやすい動線整備（パンダ橋、ジュエリーブリッジなど）
- ・帰宅困難者対策の推進、防災情報の多言語発信
- ・防災センター機能の充実、業務集積地における災害時エネルギー確保、BCPの推進、中小規模事業者におけるリカバリー力向上等による防災性向上
- ・近隣商店街の活性化

検討中

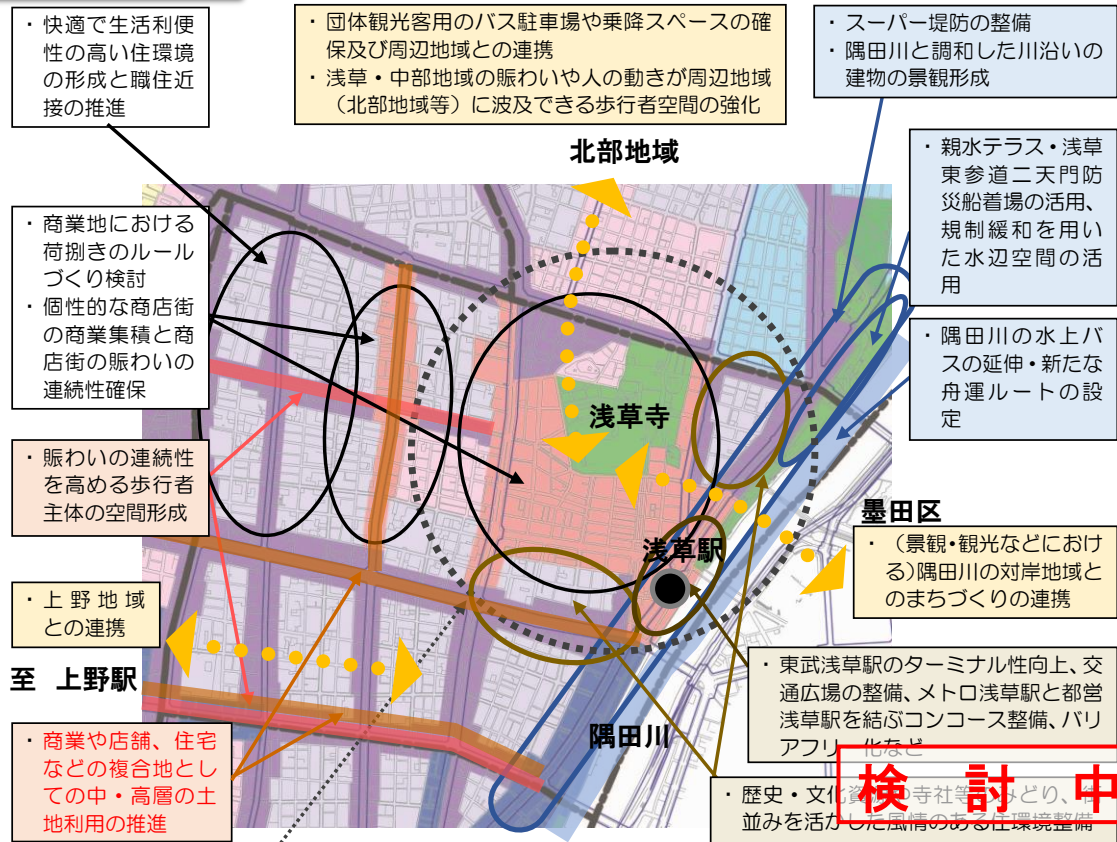
## 谷中地域

- ・根津、千駄木、西日暮里、上野公園等の隣接地域との歩行者ネットワークの形成
- ・個性ある商店街としての環境整備、まち歩き観光への対応
- ・下町情緒に配慮した建物更新・共同化、不燃化特区事業の推進
- ・谷中霊園や既存の公園におけるみどりの保全
- ・上野台地産線におけるみどりの保存
- ・地域住民との協働による道路の拡幅整備や面的整備
- ・防災性や街並みを考慮した沿道まちづくりの推進

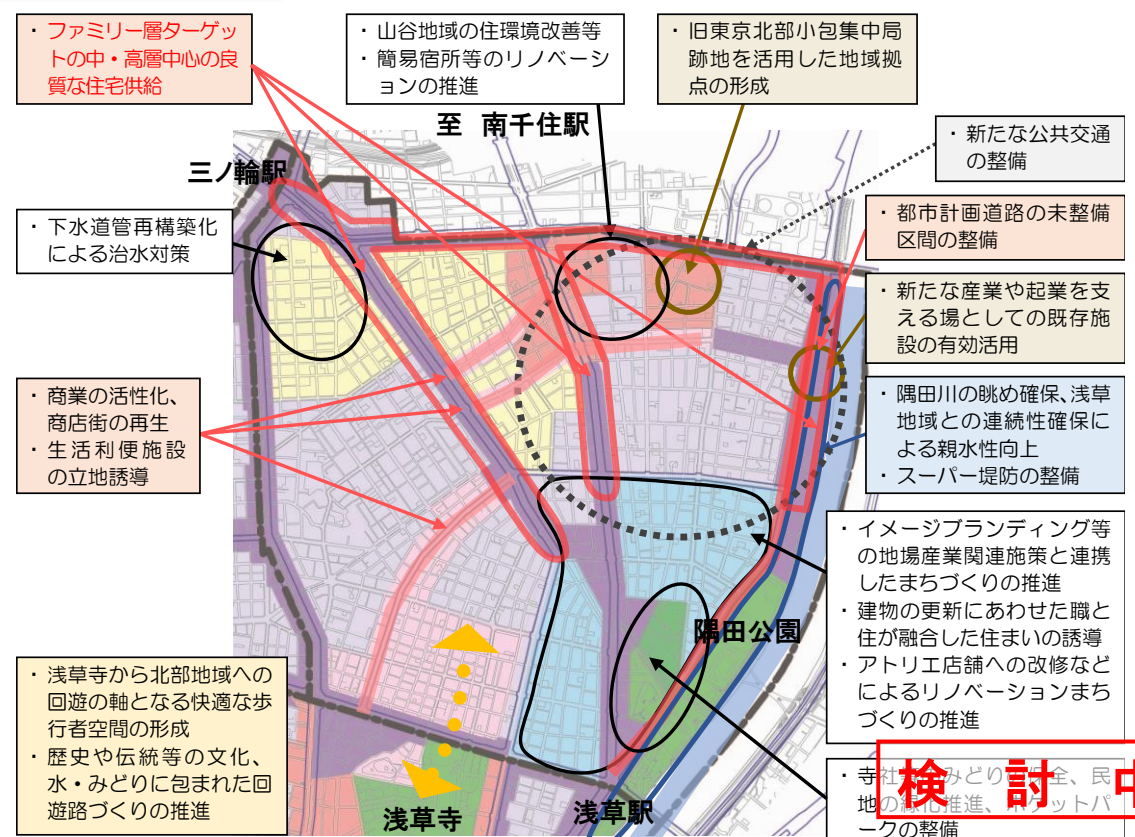
検討中



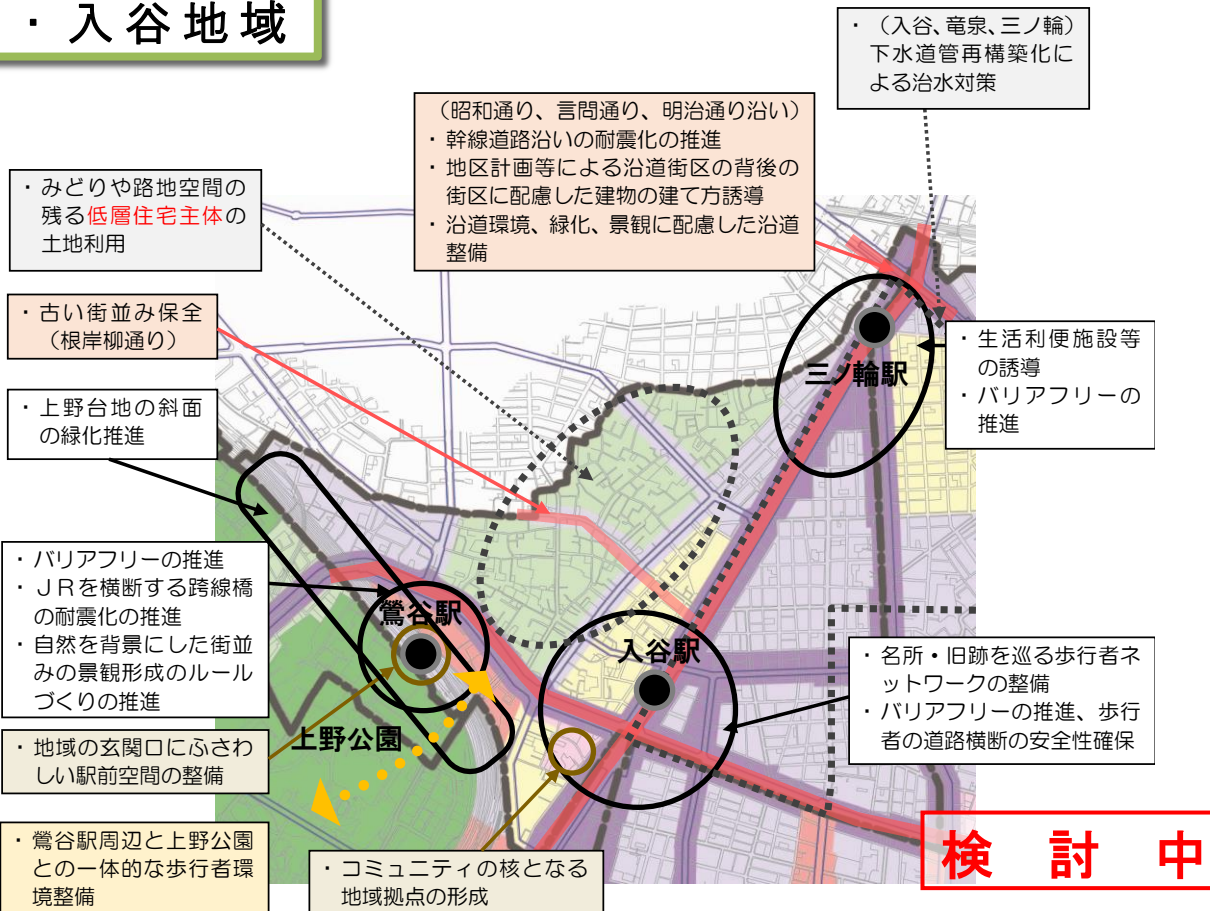
# 浅草・中部地域



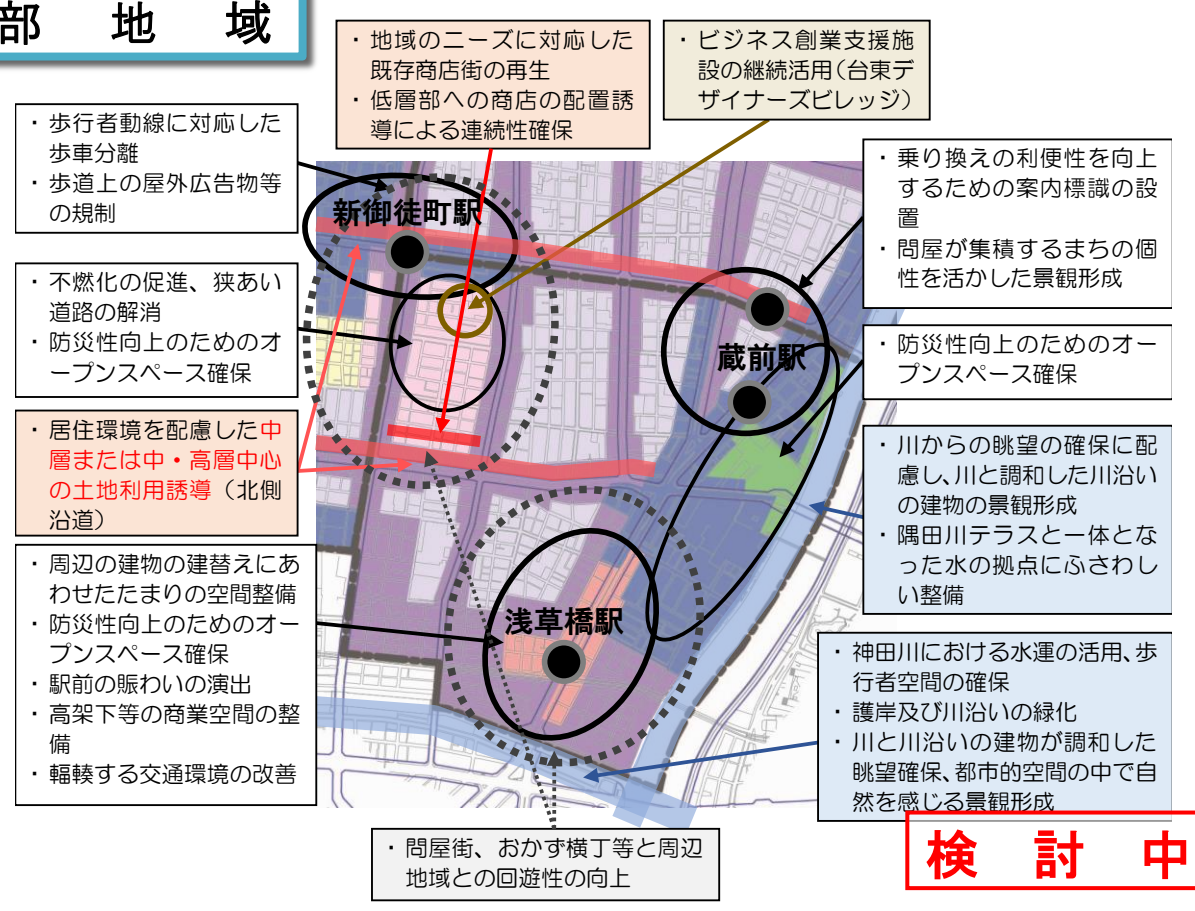
# 北部地域



# 根岸・入谷地域



# 南部地域





# 第6章 まちづくりの実現に向けて

## ① 協働によるまちづくりの推進

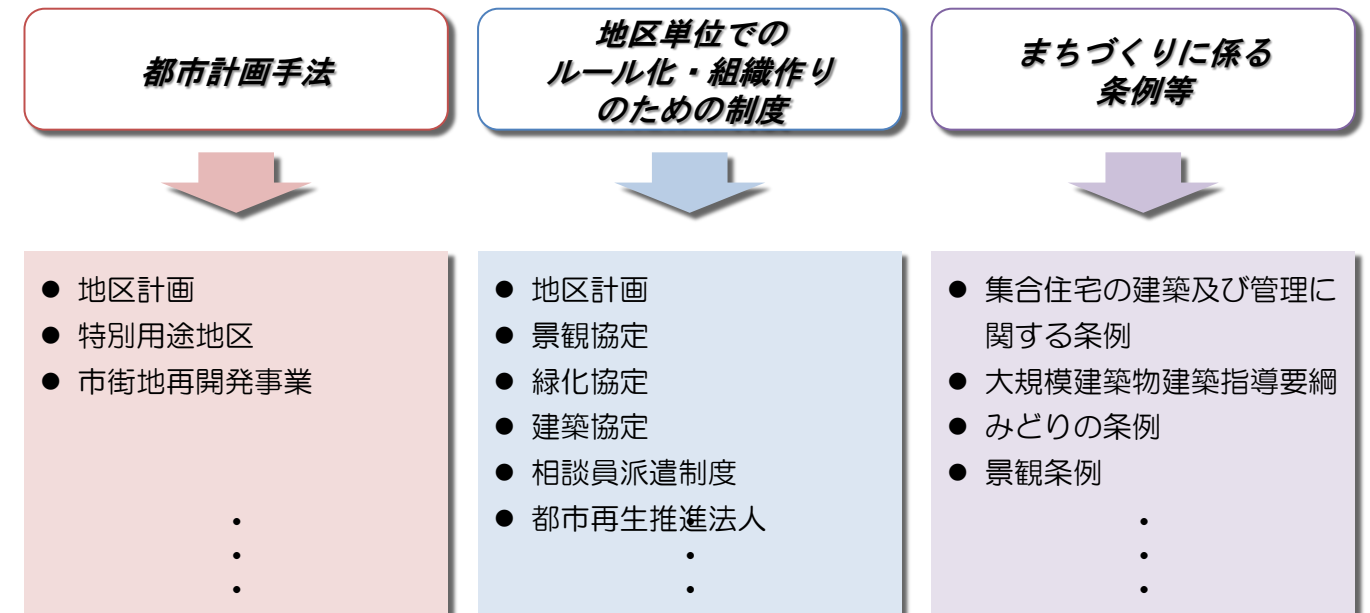
- 住民・地権者をはじめ、多様な主体のまちづくりへの参加を促し、多様化するニーズに対応したまちづくりを推進する。

【多様な主体のイメージ】



## ③ まちづくりに係る制度の検討・活用

- 都市計画マスタープランに示す将来像実現に向けた都市計画手法や地区単位でのルール化・組織づくりのための制度の積極的な活用を図るとともに、まちづくりに係る条例等の構築・再編を検討する。



## ② 地区レベルでのまちづくり・マネジメントの推進

- 都市計画マスタープランに示す将来像を地元主体で深度化・実現化するとともに、長期的なエリアマネジメントの促進を図り、地元主体の持続的なまちづくりを推進する。



エリアマネジメントによるオープンカフェの実施例



エリアマネジメントによる賑わい創出・交流イベント開催の例



## ④ 重点地区の設定

- 都市施策を効果的に実現するためには、区全体のまちづくりを先導するフラグシップ・プロジェクトを進めることが重要である。
- そこで拠点性の向上や地域全域への波及効果が期待できる地区としてまちづくり施策を集中的に投入する、まちづくり重点地区を設定する。

- 1) 都市施策の展開の核となる資源と課題を有する地区
- ・台東区らしい魅力や景観資源
  - ・まちづくりの課題
  - ・まちづくりの核となる土地や施設
  - ・地元を中心としたまちづくりの動向（地元の機運）

### 【重点地区の選定フロー(案)】

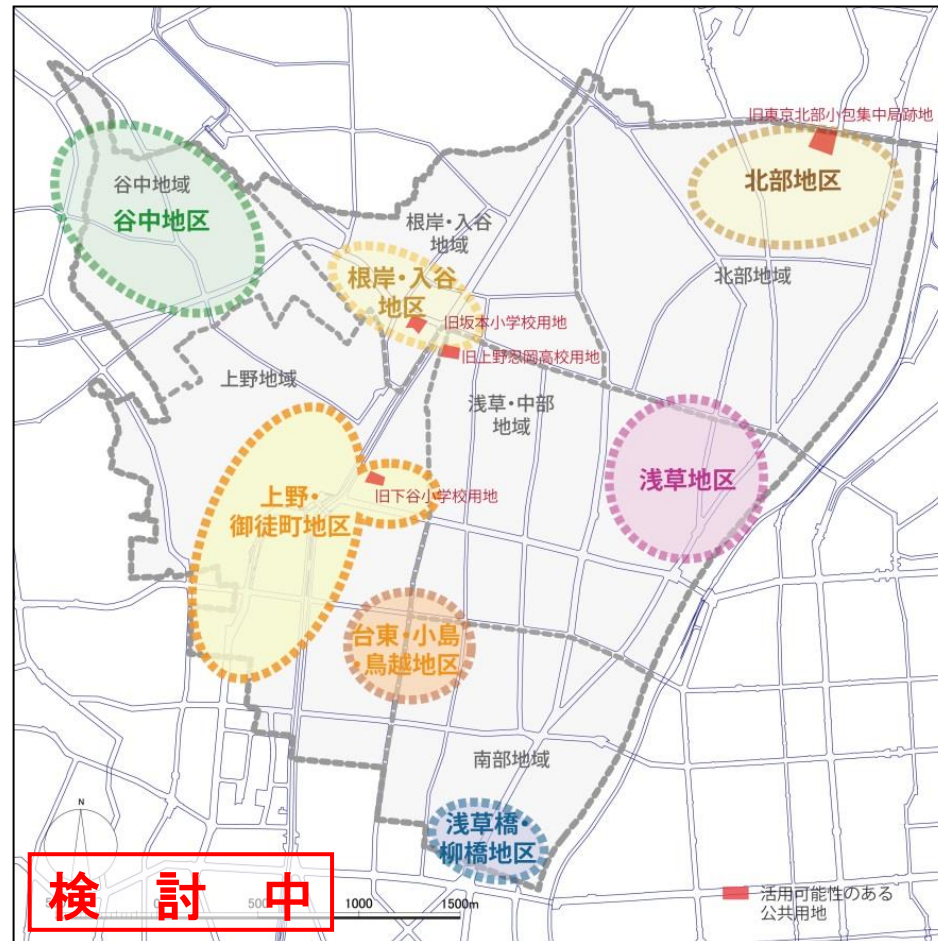
- 2) 重点地区選定の優先条件
- ・台東区の顔・拠点づくりへ強く貢献する
  - ・迅速な課題解決が要求されていること
  - ・保全・活用・再生のバランスのとれたまちづくりが必要なこと

3) 将来都市構造の検討

4) 地域別まちづくり方針の検討

5) 重点地区候補の選定

### 【重点地区(案)】



### 【重点地区の選定理由(案)】

地区名	1) 都市施策の展開の核となる資源と課題を有する地区	2) 重点地区選定の優先条件
上野・御徒町地区	資源	● 台東区の顔づくりに強く貢献
	課題	
谷中地区	資源	● 不燃建て替えの促進が急務
	課題	
浅草地区	資源	● 台東区の顔づくりに強く貢献
	課題	
根岸・入谷地区	資源	● 緊急輸送道路の沿道耐震化が急務
	課題	
北部地区	資源	● 不燃建て替えの促進が急務
	課題	
台東・小島・鳥越地区	資源	● 住環境保全、芸術活用、商店街再生をバランスよく推進
	課題	
浅草橋・柳橋地区	資源	● 台東区の顔づくりに強く貢献 ● 産業再生と景観保全
	課題	